

リコール自転車事故多発

対象300万台 改修3000台

ブリヂストンサイクル(埼玉)とヤマハ発動機(静岡)が今年6月に経済産業省にリコールを届け出た自転車で、利用者が転倒して重傷を負う事故が相次いでいる。走行中にハンドルがロックされる不具合があり、リコール対象は300万台を超えるが、周知不足で改修は進んでいない。

走行中にハンドルロック

■誤作動

リコール対象になっているのは、ブリヂストンが2003年9月～15年5月に製造・販売した「アルベルト」などの自転車49車種と、同社が製造し、ヤマハが発

売した「PAS」シリーズなどの電動アシスト自転車16車種。対象はブリヂストンが約316万台、ヤマハが約27万台になる。

これらの自転車には、後輪に鍵をかける「ハンドルロック」も同時にロックされる「一発二錠」と呼ばれる装置が取り付けられている。2か所を同時に施錠することで盗難防止の効果が高まるが、ハンドルの根元にある装置を包むカバーが破損していると、誤作動が起き、走行中にハンドルがロック

■転倒で骨折も

自社の製品で重大事故が起きた場合、消費生活用製品安全法に基づき消費者庁に届け出る義務がある。同庁によると、リコール対象の自転車を巡り、不具合が原因の可能性がある事故は17、18年度で計3件が報告されたが、リコールの届け出があった19年度は8月27日現在で13件に上る。

されることがあるという。

両社は「カバーに破損がなければ不具合は起きない」とするが、転倒などの強い衝撃で破損する恐れがある。リコール対象の自転車は、カバーのラベルが黒色で、対象でない自転車は白いラベルが貼られている。両社は、黒色ラベルの自転車については、無償で点検し、ハンドルロックと後輪の鍵を取り替えるとしている。

■ネット

事故が相次リコールに対する。 「そんな危車とは知らない」と京都府京都市豊島区のミヤンマー人8月下旬、記



●リコール対象の一つで、ブリヂストンサイクルが製造・販売した「アルベルト」のハンドルの根元にある黒いラベルのカバー。破損すると、誤作動の恐れがある(いずれもブリヂストンサイクル提供)

全ての事故で利用者が全治1か月以上の重傷を負い、腰帯を損傷したり、骨折したりするケースもあった。東京都内では6月30日、対象の電動アシスト自転車

ンドルが走行中にロツ
れ、転倒した利用者が
目に重傷を負った。

社には、これらの事故
にも、リコール後に起
事件の事故が報告され
るといふ。

■ネットに中古品

取が相次ぐ青森には、
ールに対する周知不足

んな危険のある自転
知らなかった」。東
鳥島の飲食店で働く
マー人の男性(42)は
旬、記者の指摘で自

分の自転車がリコール対象
だと知り、驚いた様子を見
せた。男性は数年前、近所
の自転車店で中古品を購入
した。通勤などの日常生活
で使うほか、子どもを後部
のシートに乗せることもあ
り、「すぐにメーカーに問
い合わせる」と話した。

両社はホームページやポ
スターなどで注意を呼びか
けているが、8月21日現在、
リコール対象の製品に関す
る問い合わせは計3万68
73件で、改修が完了した
のは計3162台にとどま
る。経産省の担当者は「自

転車のリコールとしては異
例の規模。早く改修を進め
ないと、より重大な事故が
起きかねない」と危惧する。

既に廃棄済みの自転車も
多いとみられるが、インタ
ーネットのフリマアプリな
どには中古品が複数出品さ
れ、「2万5450円」の
値がついているケースもあ
る。

消費者事故に詳しい向
殿政男・明治大名誉教授
(安全学)は「事故の危険
性を考えれば、メーカーは
販売店のデータを利用し、
購入者に直接呼びかけるこ

とも考えるべきだ。フリマ
アプリなどで販売されてい
る商品については、国とも
協力しながらアプリの事業
者や中古販売業者との間で
情報を共有し、販売を規制
する仕組みも必要だろう」と
指摘する。

両社の担当者は「今後、
どのように周知をしていく
か検討していきたい」とし
ている。リコール対象の自
転車に関する問い合わせ
は、フリマアプリが012
0・502・092、ヤマ
ハが0120・801・3
09。